

2022 年度 FD・SD 研修

マクロレベル FD・SD 研修実施報告書

群馬医療福祉大学 FD・SD委員会

大久保 圭介

〈研修名〉 「非常勤講師と常勤教職員の連携」

〈研修実施日時〉 2023 年 2 月 25 日(土)9:00~12:00

〈会 場〉 群馬医療福祉大学前橋キャンパス 大講義室及び各教室

〈参加者〉 ※Zoom による参加者を含む。

- ・ 常勤教職員 166 名
- ・ 非常勤講師 46 名

(1) 概要

○研修趣旨

- ・ 全体会

非常勤と常勤、教員と職員を問わず、シラバスを拠り所とした統一的な教育活動が求められている観点から、今回は「シラバス作成の基本と運用について」という内容で全体会を実施する。研



修講師は本学リハビリテーション学部 山口 智晴先生にご登壇頂いた。

・グループ検討会

非常勤講師と常勤教職員との連携について課題抽出と情報共有する場を設けることで、均質的な教育活動につなげていくことを目的としたグループワークを実施する。

(2) 内容・所感等

・以下、受講後の寄せられた声の一部を掲載する。

・次年度に向けて、シラバスの作成と修正をしていたため、シラバスを作成する上での視点・留意点について再確認できました。 2部の研

修では情報共有することの重要性を改めて感じる事ができました。

・シラバスの大局的な捉え方から具体的な実際の運用、実践まで、極めて広角な視点からの論考であったと思う。シラバスの役割や論理学の立場からの「能力」の虚構性、具体的な1単位の背景にあるもの、授業計画が学生を主語にして考えるべきこと等、様々なことを学んだ。

・第一に、「学生にとってのメリット」を考えること。 シラバスには単に「予習」ではなく、予習の内容を提示する。パワーポイントは学生のためではなく話者にとって使いやすいものであること。そして「知識は伝わらない」などがとても印象に残り、参考になりました。

